

APICでのCIMCのアップグレード

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[アップグレードの前に](#)

[手順](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco APICを実行するUCS CシリーズサーバでCisco Integrated Management Controller(CIMC)をアップグレードする方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Unified Computing System(UCS)サーバ
- Application Policy Infrastructure Controller (APIC)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、UCS Cシリーズサーバで実行されているAPICサーバに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

アップグレードの前に

ACIファブリックのソフトウェアバージョンをアップグレードすると、ファブリックで実行されているCIMCバージョンに新しい要件を設定できます。そのため、特定のAPICリリースでサポートされているCIMCソフトウェアバージョンのリストについては、常にAPICソフトウェアバージョンのリリースノートを確認することをお勧めします。

1. APICリリースノートを確認し、どのCIMCソフトウェアイメージにアップグレードする必要があるかを確認します。[APICリリースノート](#)へのリンク。

2. Cisco.comサイトからソフトウェアイメージを取得します。
3. イメージのMD5チェックサムが、Cisco.comサイトで公開されているチェックサムと一致することを確認します。
4. CIMCバージョンのアップグレードプロセスに必要な時間は、ローカルマシンとUCS-Cシャーシ間のリンク速度、およびソース/ターゲットソフトウェアイメージとその他の内部コンポーネントのバージョンによって異なります。
5. APICはトラフィックのデータパスにないため、CIMCのアップグレードは実稼働ネットワークに影響しません。
6. CIMCバージョンをアップグレードする際に、カーネルベースの仮想マシン(vKVM)を実行するために、インターネットブラウザとJavaソフトウェアバージョンの変更が必要になる場合があります。

APIC CIMCをアップグレードするには、『[Cisco Host Upgrade Utility Based on Guide](#)』も使用できます。

UCS Cシリーズサーバ上で稼働するAPICサーバCisco UCS 220 M5、Cisco UCS 220 M4 (第2世代アプライアンスAPIC-SERVER-M2およびAPIC-SERVER-L2) またはCisco UCS 220 M3 (第1世代アプライアンスAPIC-SERVER-M1およびAPIC-SERVER-L1) 。Trusted Platform Module(TPM)証明書とAPIC製品ID(PID)で保護されたイメージで製造されたサーバとの間にわずかな違いがあります。

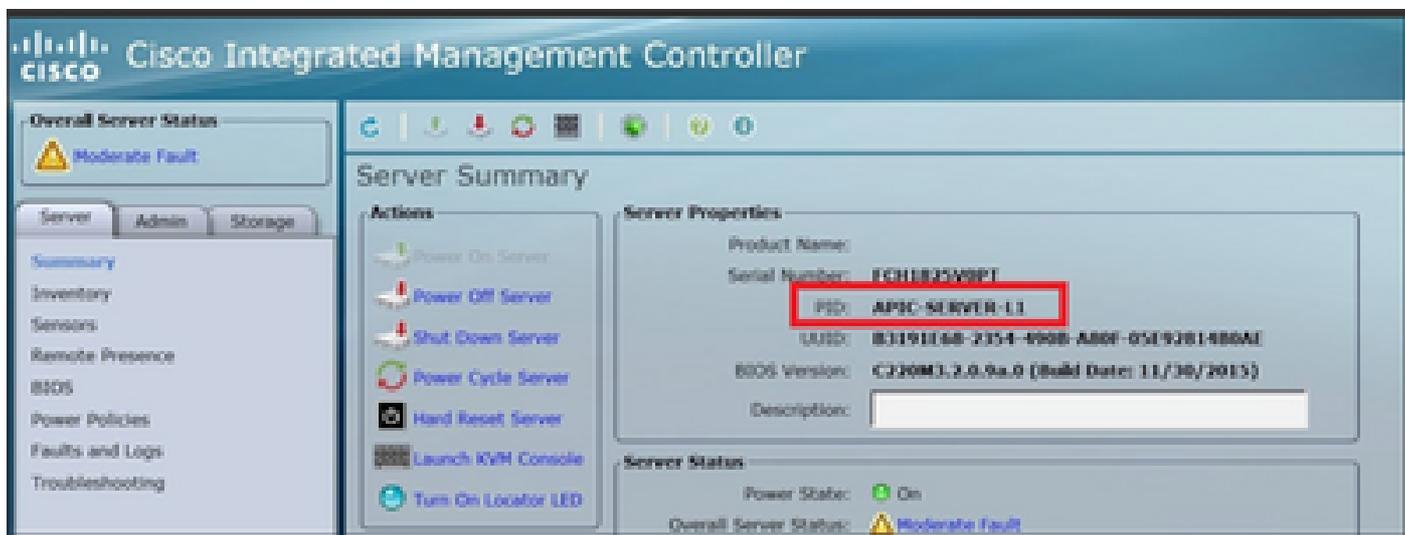
APICプラットフォームフォーム	対応するUCSプラットフォームフォーム	説明
APICサーバM1	UCS-C220-M3	3台のCisco APIC第1世代コントローラで構成されたクラスター。中規模のCPU、ハードドライブ、およびメモリ構成で最大1000個のエッジポートに対応。
APICサーバM2	UCS-C220-M4	中規模サイズのCPU、ハードドライブ、およびメモリ構成を持ち、最大1000個のエッジポートをサポートする3台のCisco APIC第2世代コントローラで構成されるクラスター。
APIC-SERVER-M3	UCS C220 M5	中規模サイズのCPU、ハードドライブ、およびメモリ構成を持ち、最大1000個のエッジポートをサポートする3台のCisco APIC第2世代コントローラで構成されるクラスター。
APICサーバL1	UCS-C220-M3	3台のCisco APIC第1世代コントローラで構成されたクラスター。1000を超えるエッジポートに対応できる大型のCPU、ハードドライブ、メモリ構成を備えています。

APICサーバ L2	UCS-C220-M4	3台のCisco APIC第2世代コントローラで構成されたクラスター。 1000を超えるエッジポートに対応できる大型のCPU、ハードドライブ、メモリ構成を備えています。
APIC- SERVER- L3	UCS C220 M5	大規模なCPU、ハードドライブ、メモリ構成 (1200個を超えるエッジポート) を備えたCisco APIC

手順

ステップ 1 : まず、APICモデルを決定します。

CIMC GUIでこれを確認して、Server> Summaryの下に表示されるPIDを確認できます。



ステップ 2 : ソフトウェアのダウンロード。

Cisco [Download Software](#) ページから、Select a Product > Downloads > Home Servers - Unified Computing > UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software > Choose [UCS 220 M3/M4/M5](#) based on the generation of APIC > Unified Computing System (UCS) Server Firmware に移動します。

Software Download

My Previous Downloads

Product	Software Type	Latest Release	Last Downloaded
Application Center Infrastructure Simulator	Application Center Infrastructure (ACI) Simulator Software	3.2(2a)	3.2(2a)
2504 Wireless Controller	Wireless LAN Controller Software	--	8.5.125.0
UCS C220 M3 Rack Server Software	Unified Computing System (UCS) Server Firmware	--	3.0(4)

[View all 24 Downloads >](#)

Most Popular

- ASA 5515-X IPS Security Services Process...
- ASA 5585-X IPS Security Services Process...
- ASA 5525-X IPS Security Services Process...
- ASA 5512-X IPS Security Services Process...
- AnyConnect Secure Mobility Client v4.x Jobsite for Windows

Select a Product

- UCS C220 M3 Rack Server Software
- UCS C220 M4 Rack Server Software
- UCS C220 M5 Rack Server Software

[Browse all](#)

注：現在のACIソフトウェアリリースに推奨されるCIMCファームウェアバージョンをダウンロードするには、推奨される『[CIMCバージョンおよびソフトウェアリリースガイド](#)』を必ず確認してください。

そのUCSモデルの最新または推奨ファームウェアの代わりに、CIMC APIC推奨ファームウェアのみを使用してください。

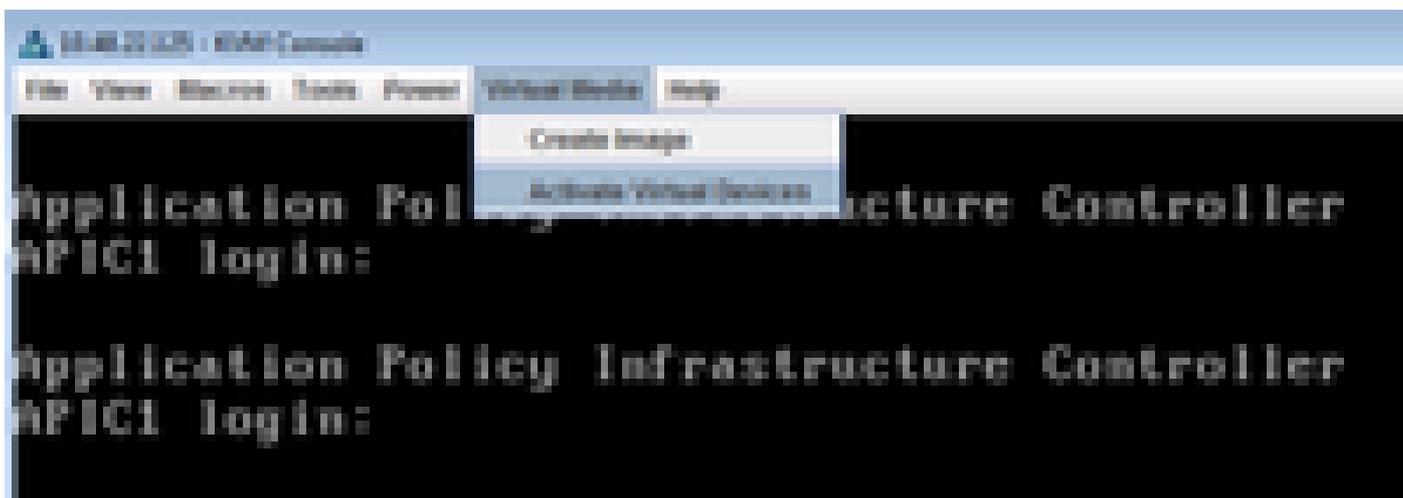
ステップ 3 : CIMC GUIからKVMコンソールを起動します。

The screenshot shows the Cisco Integrated Management Controller (CIMC) GUI. The 'Server Summary' page is displayed, with the 'Launch KVM Console' button highlighted in red. A dialog box is open, displaying a warning message: "The KVM Viewer requires Java 1.8.0_34 or higher for proper functioning. It seems that you have either not installed Java or has Java lower than 1.8.0_34. Would you still like to continue?" with "OK" and "Cancel" buttons. The background shows server details like Product Name, Serial Number, and IP Address.

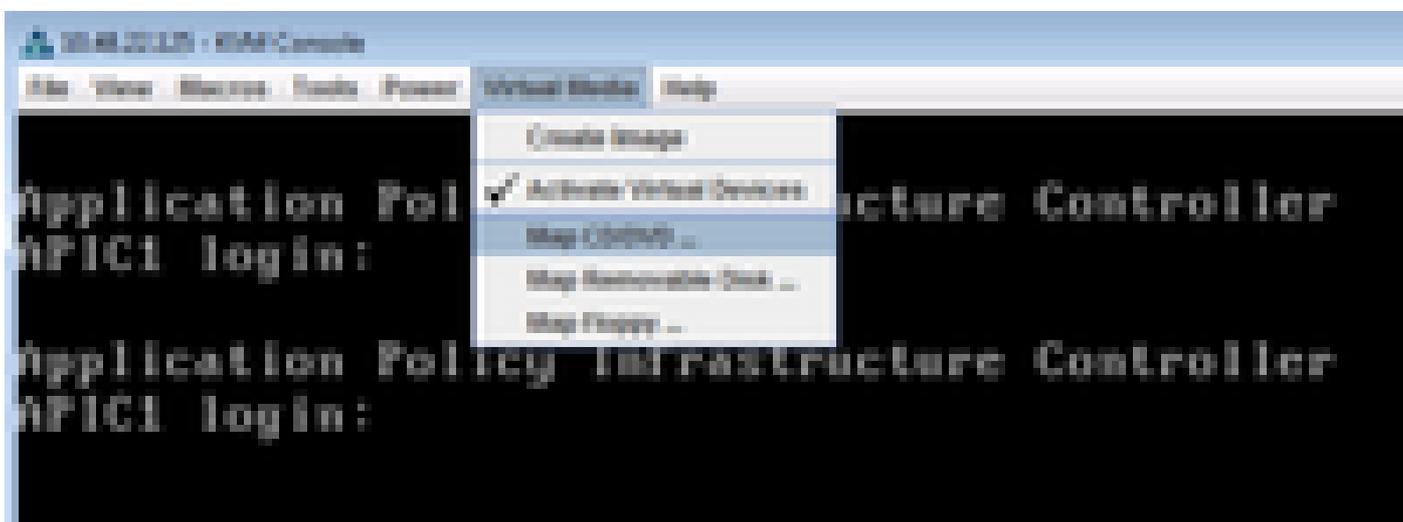


注:KVMコンソールを開く際に問題が発生する場合は、通常、JAVAバージョンに問題があります。使用可能なさまざまな回避策については、使用しているCIMCバージョンのリリースノートを参照してください。

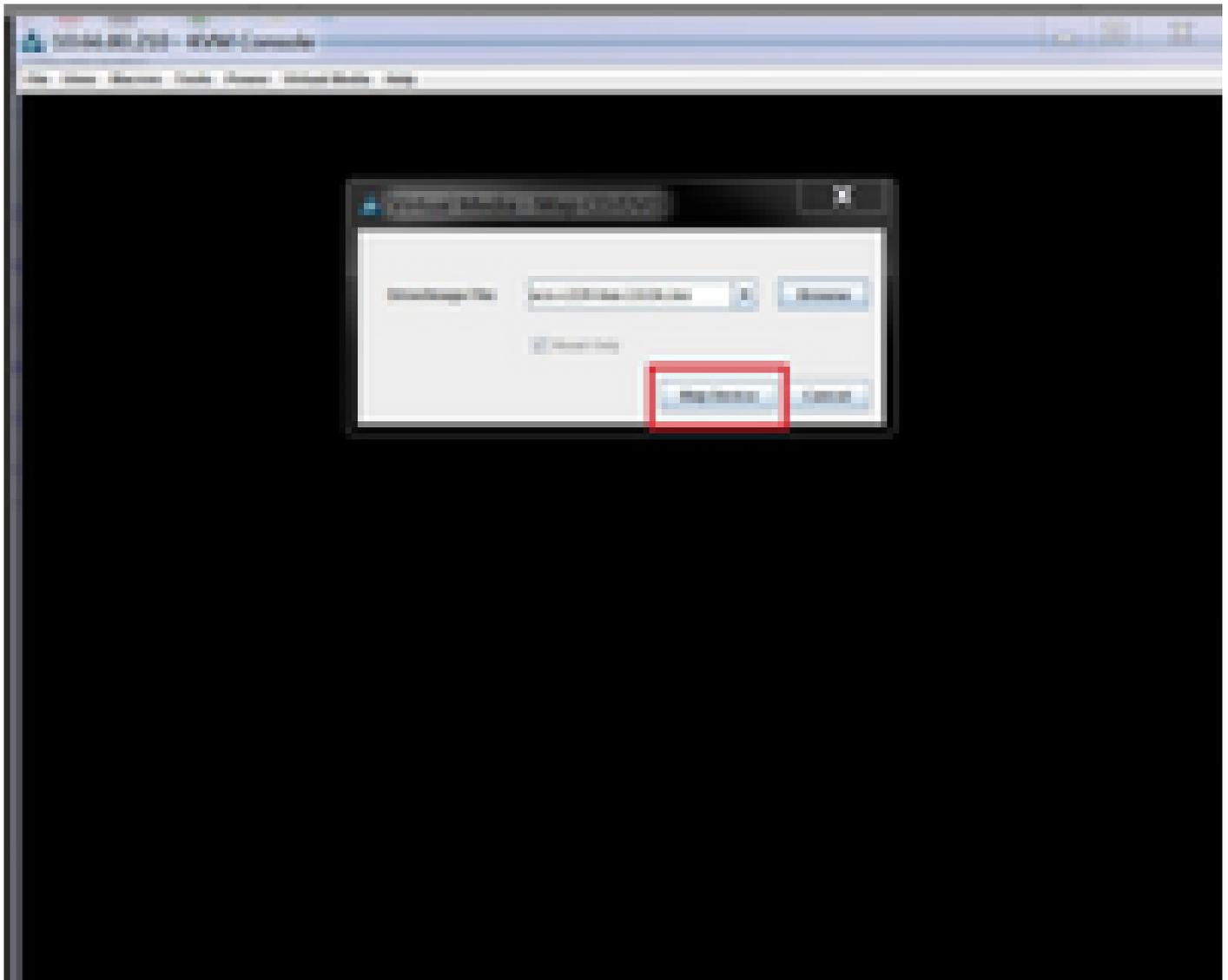
ステップ 4 : 仮想デバイスをアクティブにするには、図に示すように、Virtual Media > Activate Virtual Devicesの順に移動します。



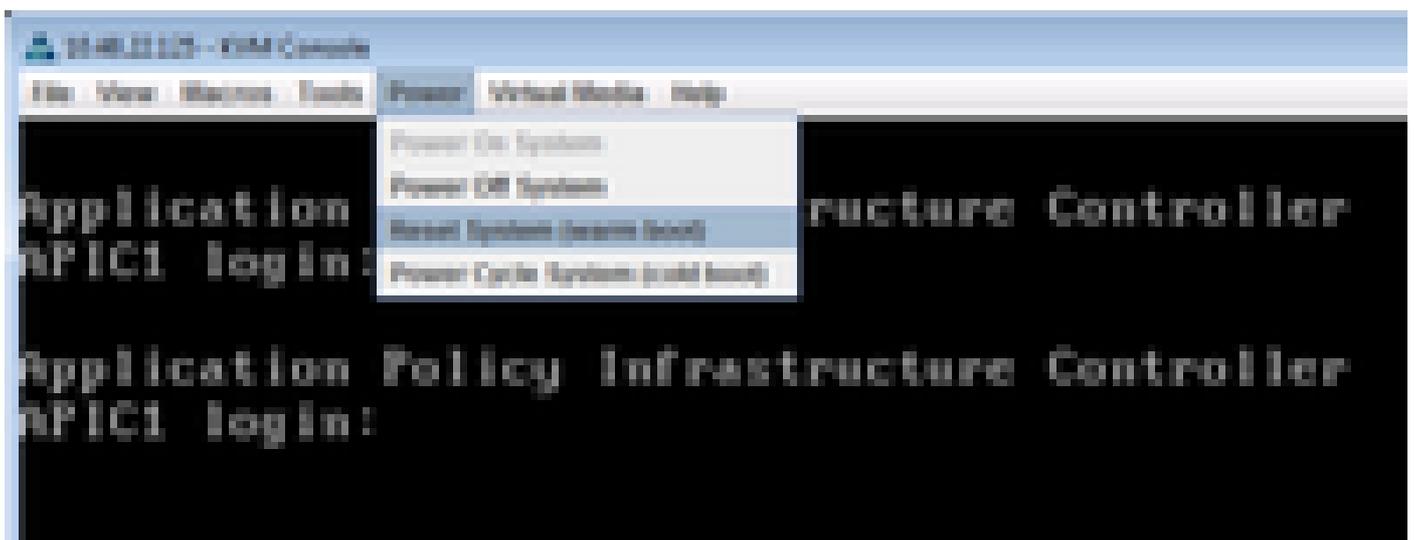
ステップ 5 : ダウンロードしたISOイメージをCD/DVDにマッピングするには、図に示すように、Virtual Media > Map CD/DVDの順に選択します。



手順 6 : ローカルマシンからISOイメージを参照し、次の図に示すようにMap Deviceをクリックします。



手順 7 : リブートするには、図に示すように、Power > Reset System (warm boot)の順に移動します。



ステップ 8 : ブートメニューを表示するには、システムがリブートした後に、図に示すように F6を押します。

 するように求められたときに、F2 キーを押します。次に、Security > Set Administrator Passwordの順に移動し、プロンプトが表示されたら2回新しいパスワードを入力します。

ステップ 10 : 図に示すように、起動デバイスvKVM mapped vDVD1.22を選択します。

Please select boot device:

```
Cisco vVHM-Mapped vVHD1.22
Cisco CIMC-Mapped vVHD1.22
(Bus 81 Dev 00)PCI RAID Adapter
Cisco NIC 0=0.0
Cisco NIC 9=0.0
IBA GE Slot 0100 v1553
IBA GE Slot 0101 v1553
UEFI: Built-in EFI Shell
UNIDEN FSE4000CS1-BTB
Cisco vVHM-Mapped vHD01.22
Cisco vVHM-Mapped vFD01.22
Cisco CIMC-Mapped vHD01.22
Enter Setup
```

↑ and ↓ to move selection
ENTER to select boot device
ESC to boot using defaults

ステップ 11図に示すように、Cisco UCS Host Upgrade Utilityが起動します。



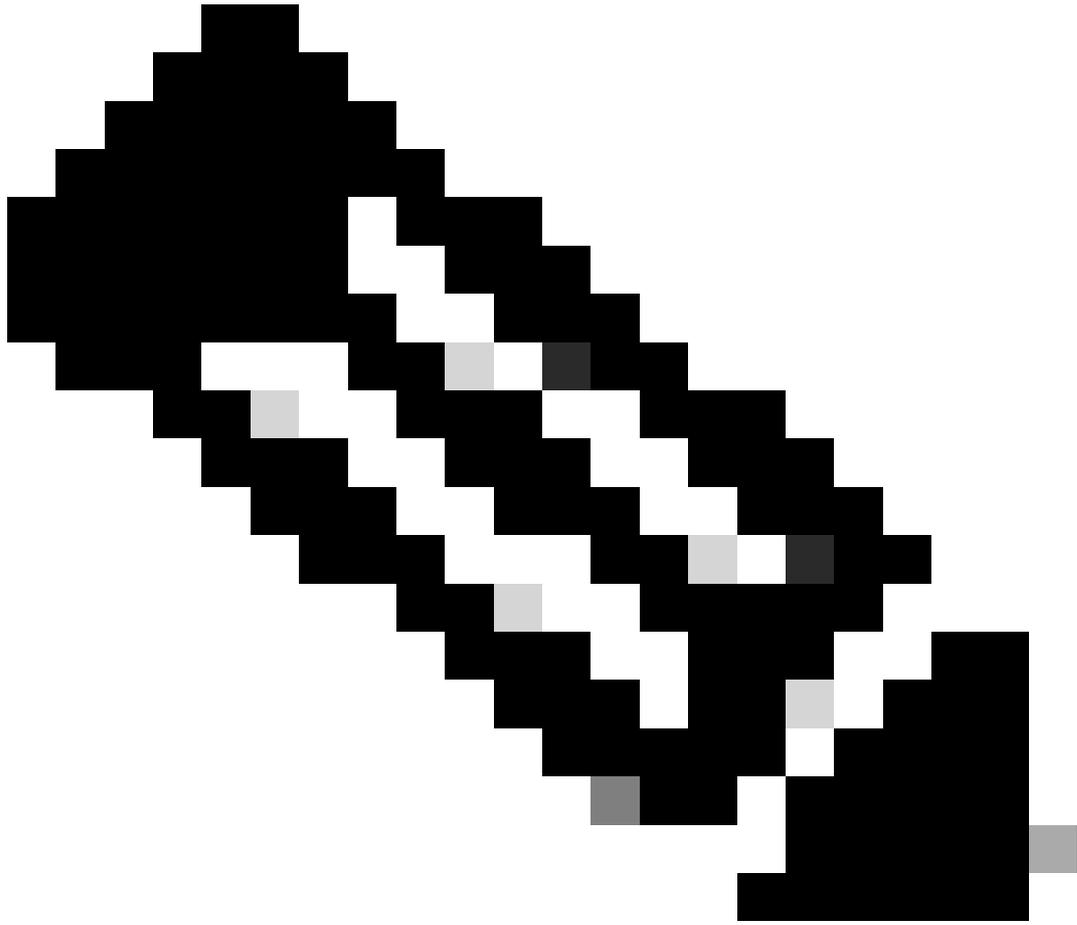
Cisco UCS Host Upgrade Utility



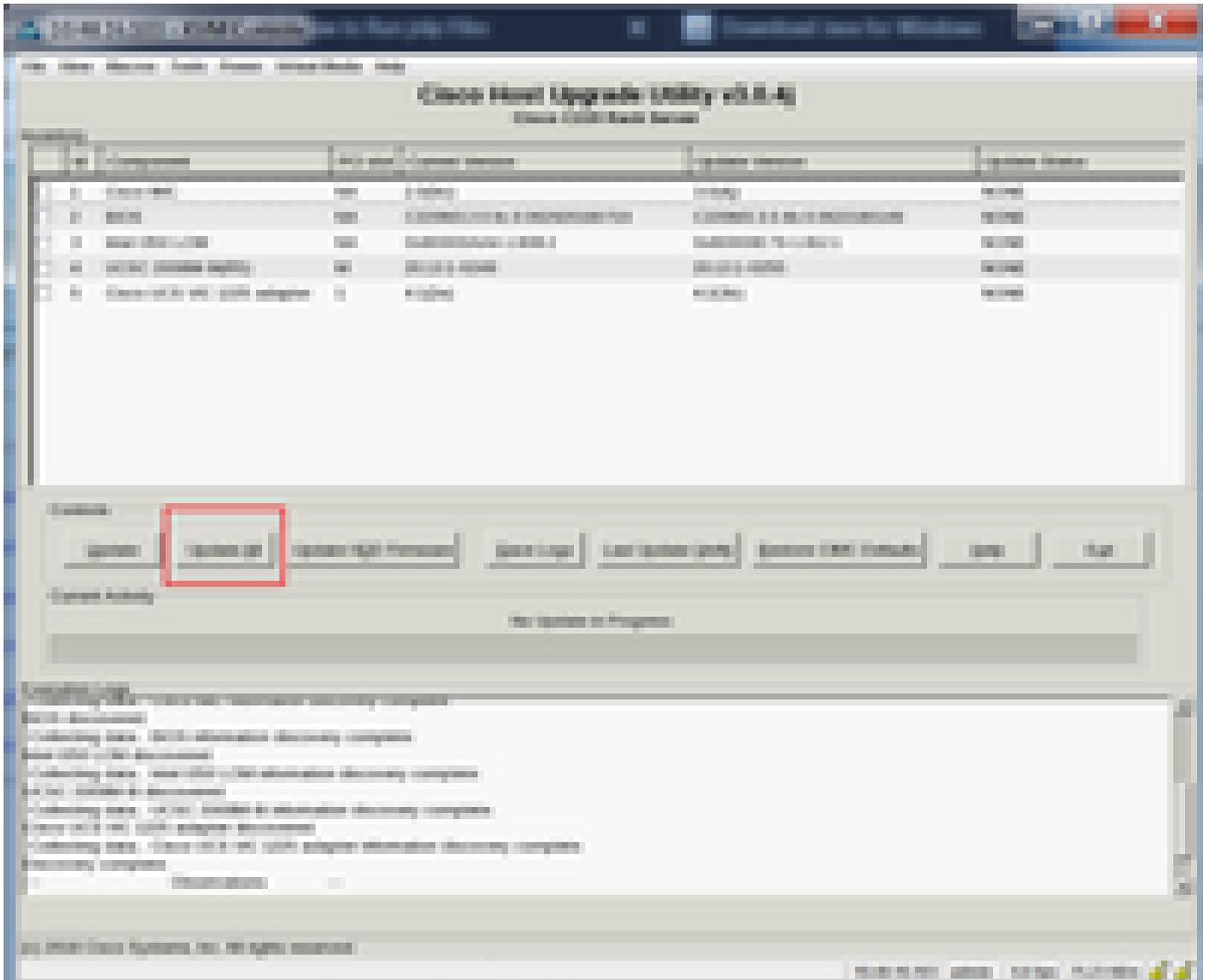
Cisco UCS Host Upgrade Utility
Version 3.0.0.0

Copying Firmware and Tools...

ステップ 12 ライセンス契約を読み、図に示すように I Agree をクリックします。



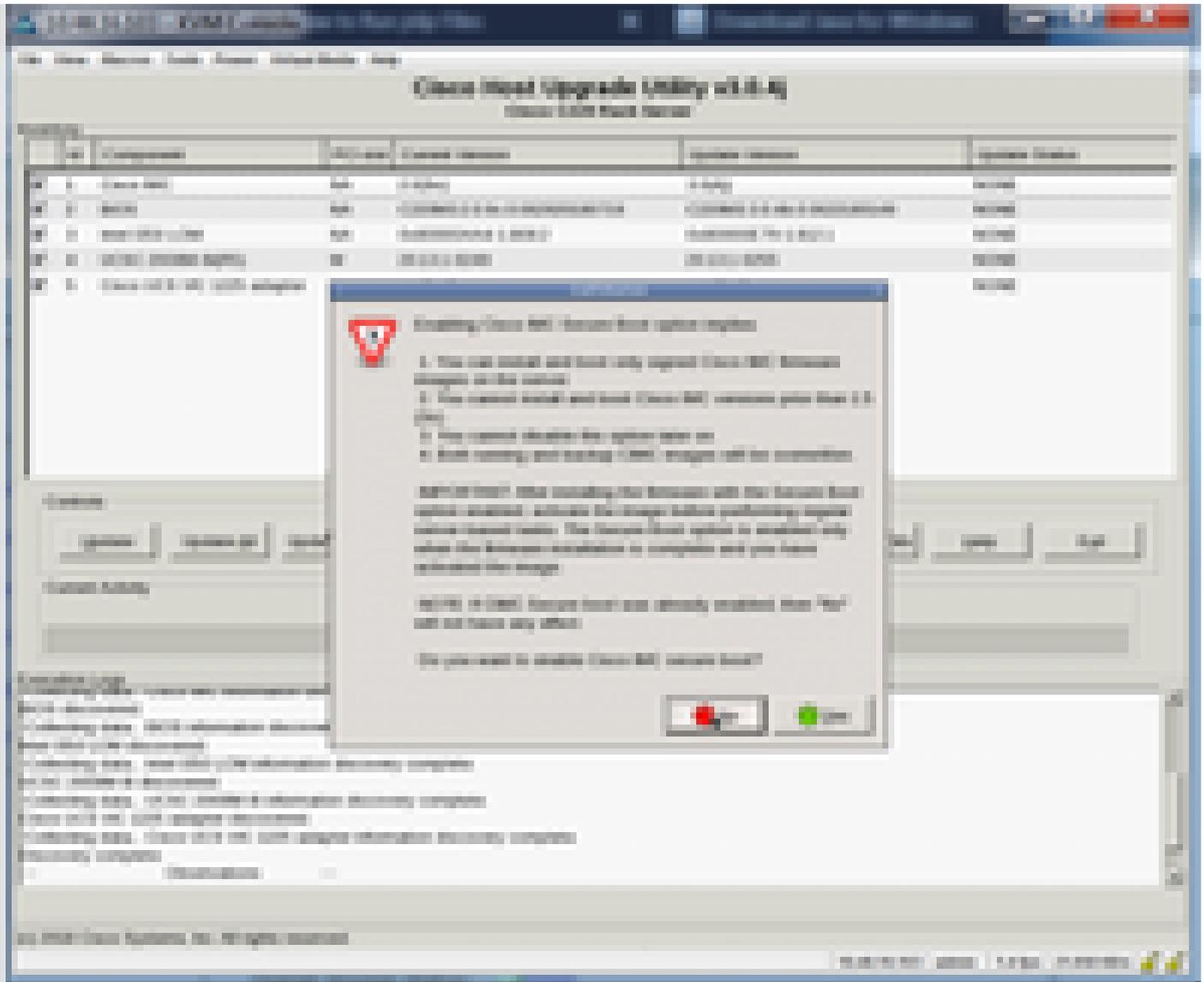
注：アップグレード中に、APICで切断が示される場合があります。



ステップ 14 : Cisco IMCセキュアブートを有効にしないでください。

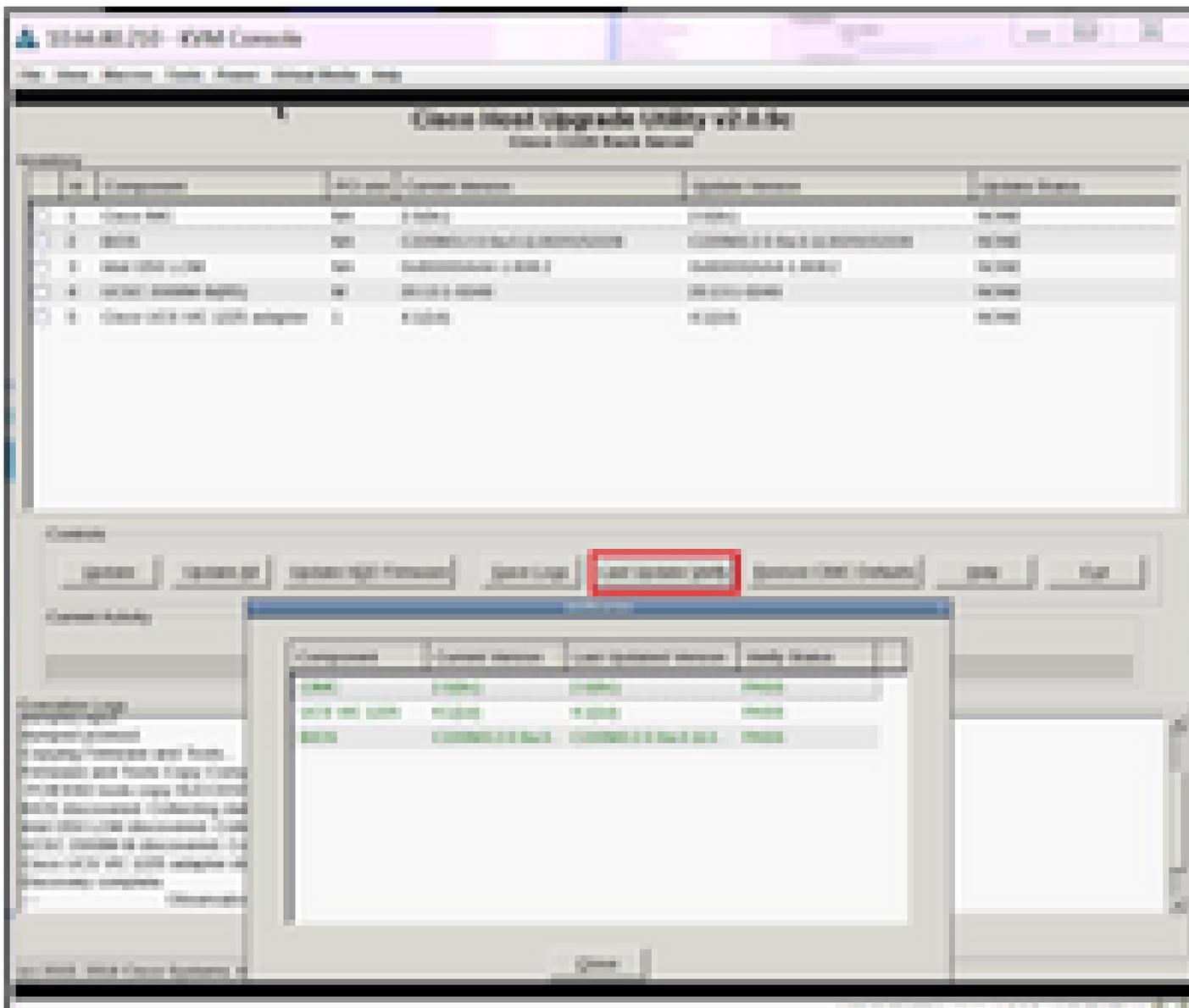
Cisco IMCセキュアブートを有効にするポップアップが表示されます。NOを選択します。それ以外の場合は、『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller GUI Configuration Guide, Release 4.0』の「[Introduction to Cisco IMC Secure Boot](#)」セクションを参照してください。

。



ステップ 15： HUUは各コンポーネントを個別にアップグレードします。完了すると、ユニットがリブートし、GUIおよびCLIを使用してシャーシにアクセスできるようになります。

サーバがリブートすると、CIMC GUIからプッシュアウトされます。CIMCに再度ログインして、アップグレードが正常に完了したことを確認する必要があります。そのためには、GUIを使用して確認するか、CIMC host Upgrade Utilityを起動し、Last Update Verifyを選択して、すべてのコンポーネントがアップグレードに合格していることを確認します。



ステップ 16 : このバージョンのアップグレードが正常に完了したことを確認するには、CIMC GUIにログインし、Admin > Firmware Managementの順に移動して、図のようにCisco IMCファームウェアを確認します。

Overall System Status



Server Admin Storage

- User Management
- Network
- Communications Services
- Certificate Management
- Event Management
- Firmware Management
- Utilities



Firmware Management

- Install Cisco ICM Firmware through Browser Client
- Install Cisco ICM Firmware from Remote Server
- Activate Cisco ICM Firmware
- Install BIOS Firmware through Browser Client
- Install BIOS Firmware from Remote Server

Cisco ICM Firmware

Running Version: 3.0(4)
Backup Version: 3.0(4)
Boot loader Version: 3.0(4)-06
Cisco ICM Secure Boot Enabled: Yes

Last Cisco ICM Firmware Install

Status: Completed Successfully

BIOS Firmware

Last BIOS Firmware Install

Status: Completed Successfully

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。